

男女共同参画社会づくり宣言事業所 エイケン工業 株式会社



【宣言内容】

- ◆育児休業や介護休業を取得しやすい環境を推進します
- ◆女性の管理職への登用を推進します
- ◆毎週ノー残業デーを設定し、家庭と仕事の両立を支援します

育休社員を社内で支援

エイケン工業株式会社経営企画管理室長の池田文明さんに、男女共同参画社会づくり宣言事業所としての取り組みについて聞きました。

「当社は、売り上げの95割を自動車関連フィルターの製造と販売で占めています。従業員は200人で女性が75人勤務しています。女性の平均年齢は35歳です。株式を上場している以上、

法令遵守は大前提。法律を守ることが会社の信用につながります。育児休業制度も制度としてある以上は会社として対応していくべきと考えています。

平成20～24年の5年間で育児休業制度は8人が計11回利用し

ましたし、時間短縮勤務は3人が計4回利用しています。社内には女性管理職もいます。社長は女性の管理職をこれから増やしていきたいという考えを持っています。女性社員の多い部署

に今は男性社員が管理職として入っていますが、そういう部署には女性の管理職に入っていただければいいと思います。今後、組織変更や人事異動の中で女性管理職は増えていくことになるでしょう。」

週2回のノー残業デー

「家庭と仕事の両立も社員にとつては重要なことですから、

受注が多いときなどは残業せざるを得ない時もありますが、基本的に毎週2日間は、ノー残業デーを設定しています。新工場ができて生産能力が向上したため以前より残業時間は減り社員の作業環境も良くなっています。地震対策や台風による浸水対策として建設された新工場は、社員の安全確保と顧客への供給責任を果たすとともに、空調が完備された女性社員にも優しい作業空間となっています」と話してくれました。

社内ですべての育休取得

同社に勤務する鈴木めぐみさんは、現在、5歳と2歳の2人のお子さんのお母さんです。

鈴木さんに、育児休業制度を利用して良かった点などを聞きました。

「1人目の時に育休を2カ月取りました。社内では私が初めてだったと思います。その後6カ月間は、6時間勤務で子どもが1歳になったところで8時間の通常勤務に戻していただきました。それから社内では徐々に皆さん育休を取るようになってきました。2人目の時は1年間取らせていただきました。社内で

総務の仕事をしていたので制度があることは知っていましたが、正直言ってその時は、退職するか迷いました。家族とも相談しましたが、やってみて無理ならその時考えればいいと思います。育休期間中は会社に行かなくても給料の5割が支給されたことは経済的に助かりました。」

育児と仕事は両立できる

「1年休むと、その後の育児と仕事の両立ができるのか心配でしたが、復帰後すぐは、短時間勤務にしてみました。家庭では夫が大変助かりました。家庭では夫が家事全般をサポートしてくれています。」

5年前に比べると、今は随分休暇も取りやすい環境になってきています。今後、ますます働く女性が増えてくると思います。行政には保育園に入りやすい環境をつくっていただくことを期待します。」



池田文明さん
エイケン工業株式会社 経営企画管理室長



鈴木めぐみさん
エイケン工業株式会社 総合管理部